



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成29年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.com/investors>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	107,571	△7.5	9,291	43.9	9,746	51.9	7,373	176.0	7,373	176.0	9,570	244.4
28年3月期第3四半期	116,232	—	6,458	—	6,418	—	2,671	—	2,671	—	2,779	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第3四半期	42.16		38.66	
28年3月期第3四半期	15.30		14.35	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
29年3月期第3四半期	220,597		100,555		100,555		45.6	
28年3月期	210,451		93,619		93,619		44.5	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	13.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	158,000	△2.5	16,000	27.0	16,500	40.2	13,000	94.2	13,000	94.2	74.29	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	199,566,770 株	28年3月期	199,566,770 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	24,204,836 株	28年3月期	24,994,162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	174,864,691 株	28年3月期3Q	174,568,038 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成28年3月期の有価証券報告書から国際会計基準(IFRS)を適用しております。また、本短信の前年度第3四半期の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明.....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
2016 年度第 3 四半期 決算 (連結) の概要	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2016年4月1日～2016年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,109	1,163	4.8%
売上高	1,162	1,076	△7.5%
営業利益	65	93	43.9%
税引前四半期利益	64	97	51.9%
四半期利益	27	74	176.0%

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、2016年の前半は中国経済の減速や英国のEU離脱決定などを受け、先行き不透明感が高まりました。しかし、堅調な米国経済や2016年後半の中国の景気持ち直しなどに支えられ、全体としては回復基調が続きました。

半導体関連市場においては、スマートフォンの高機能化と販売台数拡大、自動車電装化の進展、データセンター関連投資の伸びなどが、業界の牽引役となりました。これらの動きを背景として、非メモリ半導体メーカーでは、先端製造プロセス構築や供給能力増強に向けた設備投資が堅調に進みました。メモリ半導体では、特にDRAM関連で設備投資の伸び悩みが期初から続きましたが、データセンターやスマートフォン向け需要の伸びを反映し、2016年の後半よりメモリ半導体メーカーの設備投資が加速しました。

また、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが106円(前年同期122円)、ユーロが118円(同134円)と前年同期より円高となりました。

このような事業環境のもと、当社は、需要伸長が続く非メモリ半導体用テストシステムやメモリ半導体用テストシステムなどを中心に、受注の最大化と一層の拡販に努めました。その結果、円高による減収の影響を受けながらも、受注高は1,163億円(前年同期比4.8%増)と、前年同期実績を上回りました。売上高は1,076億円(同7.5%減)となりました。利益面においても円高に伴う減益の影響を受けましたが、採算性の良い製品の売上高比率が前年同期に比べ上昇したため、営業利益は93億円(同43.9%増)、税引前四半期利益は97億円(同51.9%増)、四半期利益は74億円(同176.0%増)となりました。海外売上比率は88.3%(前年同期92.7%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	653	765	17.0%
売上高	691	701	1.5%
セグメント利益	26	122	375.7%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、中・低価格帯のスマートフォン向けロジック半導体の生産が活況であったことを受け、円高が進む中でも前年同期から売上高を伸ばしました。メモリ半導体用テストシステム事業は、事業環境が好転した第3四半期にフラッシュメモリ向けの大型受注を獲得したものの、DRAM関連で期初からの設備投資抑制が長引いたことが影響し、前年同期を下回る売上高となりました。

以上により、当部門の受注高は765億円(前年同期比17.0%増)、売上高は701億円(同1.5%増)、セグメント利益は122億円(同375.7%増)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	239	193	△19.3%
売上高	247	162	△34.5%
セグメント利益	38	△22	—

当部門では、DRAM半導体関連の投資抑制が長引いた影響を受け、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高いデバイス・インタフェース事業の売上高が落ち込みました。大手半導体メーカーの微細化スケジュールの兼ね合いからナノテクノロジー事業も振るいませんでした。

以上により、当部門の受注高は193億円(前年同期比19.3%減)、売上高は162億円(同34.5%減)、セグメント損失は22億円(同60億円悪化)となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	217	205	△5.3%
売上高	224	213	△5.2%
セグメント利益	40	37	△7.4%

当部門では、半導体メーカー各社の生産ラインの活況を背景に、フィールドサービスに対する需要が堅調でした。しかしながら、円高進行に伴う減収減益影響を受けました。

以上により、当部門の受注高は205億円(前年同期比5.3%減)、売上高は213億円(同5.2%減)、セグメント利益は37億円(同7.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前年度末比101億円増加し、2,206億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が72億円、棚卸資産が69億円それぞれ増加したこと、営業債権およびその他の債権が45億円減少したことなどによります。負債合計は、その他の金融負債に含まれる預り金が12億円増加したこと、退職給付に係る負債が11億円増加したことなどにより、前年度末比32億円増加し、1,200億円となりました。また、資本合計は1,006億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.1ポイント増加し、45.6%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より72億円増加し、927億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益97億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少(46億円)および棚卸資産の増加(△68億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、120億円の収入(前年同期は、21億円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億円の支出(前年同期は、19億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△29億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億円の支出(前年同期は、134億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△39億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

高速無線通信網の拡充、スマートフォンの世界的な普及や性能の進化、自動車の先進運転支援システムの採用拡大など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社が主たる収益基盤を置く半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、中国や新興国諸国におけるスマートフォン市場の伸びや高速通信インフラの整備進展を背景に、非メモリ半導体用テストシステムについては四半期毎の需要増減はあるものの、総じれば堅調な需要を見込んでいます。また、より高速・大容量なDRAMやNAND型フラッシュメモリの一層の普及を背景に、当社のメモリ半導体用テストシステムやSSD用テストシステムの需要拡大を予想しています。

このような見通しのもと、当社は、半導体試験装置市場におけるシェアの拡大、半導体試験装置周辺事業および新規事業の強化、コストの引き締めなどに努め、収益の拡大を目指します。

通期連結業績予想については、第3四半期連結累計期間までの業績進捗、各事業の今後の見通し、直近の為替の状況を踏まえ、売上高は2016年10月に公表した1,560億円から1,580億円へ、営業利益は145億円から160億円へ、税引前利益は153億円から165億円へ、当期利益は120億円から130億円へ、それぞれ修正します。予想の前提とした第4四半期の為替レートは、米ドルが110円、ユーロが120円です。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,430	92,666
営業債権およびその他の債権	28,005	23,490
棚卸資産	33,912	40,782
その他の流動資産	3,049	3,828
流動資産合計	150,396	160,766
非流動資産		
有形固定資産	31,451	31,313
のれんおよび無形資産	16,726	17,117
その他の金融資産	3,542	3,089
繰延税金資産	8,038	8,084
その他の非流動資産	298	228
非流動資産合計	60,055	59,831
資産合計	210,451	220,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	22,101	21,250
社債	-	15,000
未払法人所得税	1,548	2,409
引当金	1,709	1,607
その他の金融負債	487	1,753
その他の流動負債	3,589	4,326
流動負債合計	29,434	46,345
非流動負債		
社債	44,618	29,713
その他の金融負債	65	39
退職給付に係る負債	41,076	42,203
繰延税金負債	358	366
その他の非流動負債	1,281	1,376
非流動負債合計	87,398	73,697
負債合計	116,832	120,042
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,478	44,640
自己株式	△ 94,585	△ 91,597
利益剰余金	105,190	106,779
その他の資本の構成要素	6,173	8,370
親会社の所有者に帰属する持分合計	93,619	100,555
資本合計	93,619	100,555
負債および資本合計	210,451	220,597

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	116,232	107,571
売上原価	△ 51,946	△ 43,167
売上総利益	64,286	64,404
販売費および一般管理費	△ 58,064	△ 55,275
その他の収益	526	306
その他の費用	△ 290	△ 144
営業利益	6,458	9,291
金融収益	267	621
金融費用	△ 307	△ 166
税引前四半期利益	6,418	9,746
法人所得税費用	△ 3,747	△ 2,373
四半期利益	<u>2,671</u>	<u>7,373</u>
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,671	7,373
1株当たり四半期利益		
基本的	15.30円	42.16円
希薄化後	14.35円	38.66円

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
売上高	29,885	31,376
売上原価	△ 11,907	△ 13,317
売上総利益	17,978	18,059
販売費および一般管理費	△ 18,348	△ 17,147
その他の収益	252	75
その他の費用	△ 101	△ 14
営業利益 (△損失)	△ 219	973
金融収益	611	79
金融費用	△ 52	△ 421
税引前四半期利益	340	631
法人所得税費用	△ 646	△ 519
四半期利益 (△損失)	△ 306	112
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△ 306	112
1株当たり四半期利益 (△損失)		
基本的	△ 1.75円	0.64円
希薄化後	△ 1.75円	0.64円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)		
	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	2,671	7,373
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 20	2,113
売却可能金融資産の公正価値の純変動	128	84
税引後その他の包括利益	108	2,197
四半期包括利益	2,779	9,570
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,779	9,570

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)		
	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益 (△損失)	△ 306	112
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	398	12,126
売却可能金融資産の公正価値の純変動	208	271
税引後その他の包括利益	606	12,397
四半期包括利益	300	12,509
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	300	12,509

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2015年4月1日 残高	32,363	44,487	△ 94,686	106,916	12,730	101,810	101,810
四半期利益				2,671		2,671	2,671
その他の包括利益					108	108	108
四半期包括利益	-	-	-	2,671	108	2,779	2,779
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 9	102	△ 60		33	33
配当金				△ 3,491		△ 3,491	△ 3,491
所有者との取引額等合計	-	△ 9	101	△ 3,551	-	△ 3,459	△ 3,459
2015年12月31日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	106,036	12,838	101,130	101,130

当第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				7,373		7,373	7,373
その他の包括利益					2,197	2,197	2,197
四半期包括利益	-	-	-	7,373	2,197	9,570	9,570
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 275	2,989	△ 1,762		952	952
配当金				△ 4,022		△ 4,022	△ 4,022
株式に基づく報酬取引		437				437	437
所有者との取引額等合計	-	162	2,988	△ 5,784	-	△ 2,634	△ 2,634
2016年12月31日 残高	32,363	44,640	△ 91,597	106,779	8,370	100,555	100,555

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,418	9,746
減価償却費および償却費	3,731	3,507
売却可能金融資産売却益	△ 22	△ 226
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	3,709	4,638
棚卸資産の増減額 (△は増加)	277	△ 6,816
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 13,050	△ 956
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	188	△ 102
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,375	1,550
その他	△ 835	3,382
小計	1,791	14,723
利息および配当金の受取額	243	243
利息の支払額	△ 116	△ 95
法人所得税の支払額	△ 4,054	△ 2,841
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,136	12,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	54	626
有形固定資産の取得による支出	△ 2,151	△ 2,927
無形資産の取得による支出	△ 292	△ 266
その他	458	130
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,931	△ 2,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	33	946
社債の償還による支出	△ 10,000	-
配当金の支払額	△ 3,339	△ 3,863
その他	△ 55	△ 43
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 13,361	△ 2,960
現金および現金同等物に係る換算差額	783	603
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 16,645	7,236
現金および現金同等物の期首残高	97,574	85,430
現金および現金同等物の四半期末残高	80,929	92,666

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	69,054	24,734	22,444	—	116,232
セグメント間の売上高	40	—	—	△ 40	—
合計	69,094	24,734	22,444	△ 40	116,232
セグメント利益(調整前営業利益)	2,575	3,763	4,042	△ 3,922	6,458
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	6,458
金融収益	—	—	—	—	267
金融費用	—	—	—	—	△ 307
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,418

当第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	70,122	16,171	21,278	—	107,571
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	70,126	16,205	21,278	△ 38	107,571
セグメント利益(調整前営業利益)	12,248	△ 2,190	3,742	△ 4,072	9,728
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 437
営業利益	—	—	—	—	9,291
金融収益	—	—	—	—	621
金融費用	—	—	—	—	△ 166
税引前四半期利益	—	—	—	—	9,746

前第3四半期連結会計期間(自2015年10月1日至2015年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	18,106	4,576	7,203	—	29,885
セグメント間の売上高	16	—	—	△16	—
合計	18,122	4,576	7,203	△16	29,885
セグメント利益(調整前営業利益)	△199	△465	1,626	△1,181	△219
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益(△損失)	—	—	—	—	△219
金融収益	—	—	—	—	611
金融費用	—	—	—	—	△52
税引前四半期利益	—	—	—	—	340

当第3四半期連結会計期間(自2016年10月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	18,788	5,314	7,274	—	31,376
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	18,788	5,314	7,274	—	31,376
セグメント利益(調整前営業利益)	741	△780	2,148	△874	1,235
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△262
営業利益	—	—	—	—	973
金融収益	—	—	—	—	79
金融費用	—	—	—	—	△421
税引前四半期利益	—	—	—	—	631

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2016年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位: 億円)

	2015年度 実績	2016年度実績						2016年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,515	438	285	440	54.3%	1,163	4.8%	(1,580)	5.6%
受注残	335	365	295	422	42.8%	422	8.7%	(355)	6.0%

(注) 上段()の数値は、2016年10月26日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位: 億円)

	2015年度 実績	2016年度実績						2016年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,621	407	355	314	Δ11.7%	1,076	Δ7.5%	(1,560)	Δ2.5%
売上原価	Δ706	Δ154	Δ145	Δ133	Δ7.9%	Δ432	Δ16.9%	-	-
販売費および一般管理費	Δ791	Δ196	Δ185	Δ172	Δ7.5%	Δ553	Δ4.8%	-	-
その他の収益	6	1	1	1	Δ19.4%	3	Δ41.8%	-	-
その他の費用	Δ4	Δ1	Δ0	Δ0	Δ71.4%	Δ1	Δ50.3%	-	-
営業利益 (売上高比率)	126 (7.8%)	57 (14.1%)	26 (7.3%)	10 (3.1%)	Δ62.3%	93 (8.6%)	43.9%	(145) (10.1%)	160 27.0%
金融収益・金融費用	Δ8	5	3	Δ4	-	4	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	118 (7.3%)	62 (15.2%)	29 (8.3%)	6 (2.0%)	Δ78.5%	97 (9.1%)	51.9%	(153) (10.4%)	165 40.2%
法人所得税費用	Δ51	Δ12	Δ6	Δ5	Δ20.2%	Δ23	Δ36.7%	-	-
当期利益 (売上高比率)	67 (4.1%)	50 (12.2%)	23 (6.4%)	1 (0.4%)	Δ95.1%	74 (6.9%)	176.0%	(120) (8.2%)	130 94.2%

(注) 上段()の数値は、2016年10月26日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位: 億円)

	2015年度 実績	2016年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,105	2,057	2,070	2,206	6.6%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	936	878	898	1,006	12.0%
親会社所有者帰属持分比率	44.5%	42.7%	43.4%	45.6%	-

4. 配当の状況

(単位: 円)

(基準日)	2015年度			2016年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	13.00	10.00 (9.00)	23.00 (22.00)

(注) 上段()の数値は、2016年10月26日発表時の予想であります。

詳細につきましては、本日公表しました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。